

事務事業評価表 平成22年度

政策 環境と調和する都市の構築
 施策 循環型社会の形成
 基本事業 ごみ資源化の推進

事業名 **分別・資源化等啓発事業**

[0014]

部名	生活環境部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	環境室減量推進課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>世帯</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・市民に江別市の排出ルールを理解してもらい、ごみを適正に排出してもらう ・市民の減量・資源化についての意識を高める。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>・ごみの減量・資源化推進啓発のため、出前講座を開催する。 ・「ごみ資源物の分別、排出が正しく行なわれるように「分別の手引き」「収集日カレンダー」を作成し全世帯へ配付する。</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	世帯数	世帯	52,490	52,902	53,242	53,242
対象指標2						
活動指標1	ごみ・資源物の収集日カレンダー配布枚数	枚数	80,000	85,000	85,000	105,000
活動指標2	講習会(出前講座等)開催回数	回	28	33	11	20
成果指標1	講習会(出前講座等)参加人数	人	424	453	405	350
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	2,298	2,890	2,969	3,186
正職員人件費(B)		千円	4,187	14,209	15,766	18,322
総事業費(A) + (B)		千円	6,485	17,099	18,735	21,508

費用内訳	
21年度	需用費 2,143千円、委託料 826千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・根拠は？

ごみの減量化・資源化啓発等は、市の廃棄物処理を円滑に進めるため、ごみの分別排出のルールを周知するとともに、市民の意識・行動の変革を促すもので行政が中心となって行うことは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・根拠は？

ごみ排出ルールを正しく理解させることが基本であり、減量・資源化にも一定の効果があると判断される。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・根拠は？

ごみの適正排出には不可欠であり、また講座等の参加人数は増加傾向にある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・根拠は？

出前講座参加人数の増加余地はある。また、ごみ・資源物の排出状況には問題点も多く、講座への参加者を増やす等により一層の啓発は必要である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・根拠は？

「収集日カレンダー」と「分別の手引き」の統合や、「ごみコミえべつ」の発行方法など形態の見直しによりコスト削減の余地はある。